

令和3年度 運営会議

目 次

I	令和2年度決算及び令和3年度予算	1
II	課題と取組	
1	福岡高速道路ネットワークの強化	9
2	構造物の維持管理	15
3	大規模災害対応	20
4	事故・渋滞対策	22
5	お客様サービスの推進	25
6	新型コロナウイルス感染症への対応	27



令和3年7月5日

福岡北九州高速道路公社

I 令和2年度決算及び令和3年度予算

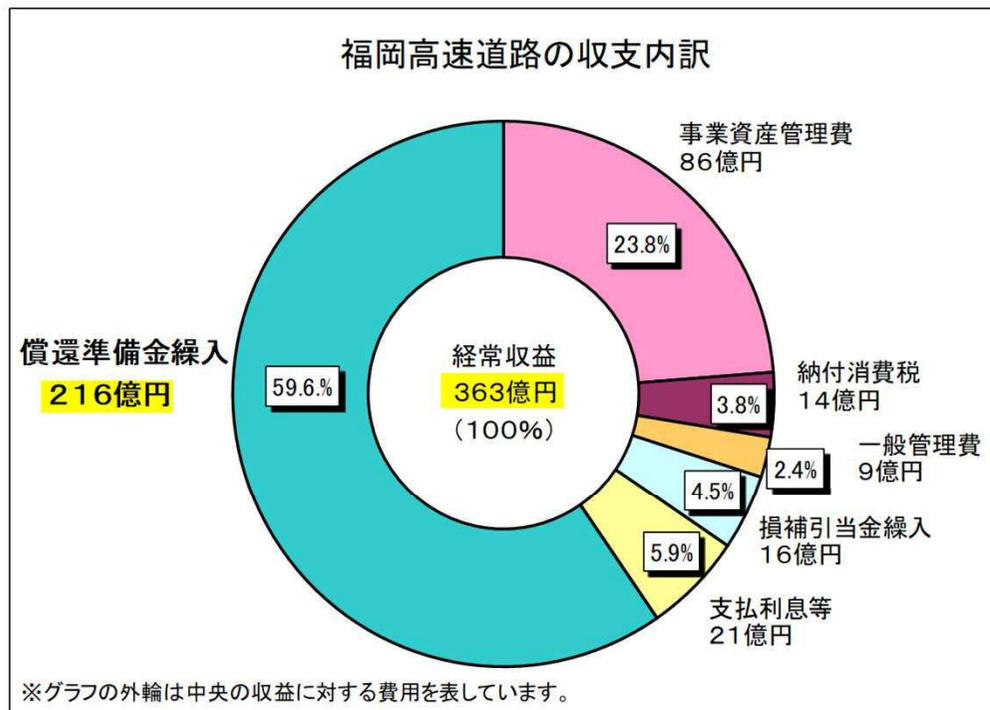
(1) 令和2年度決算

※決算見込

① 損益の概要

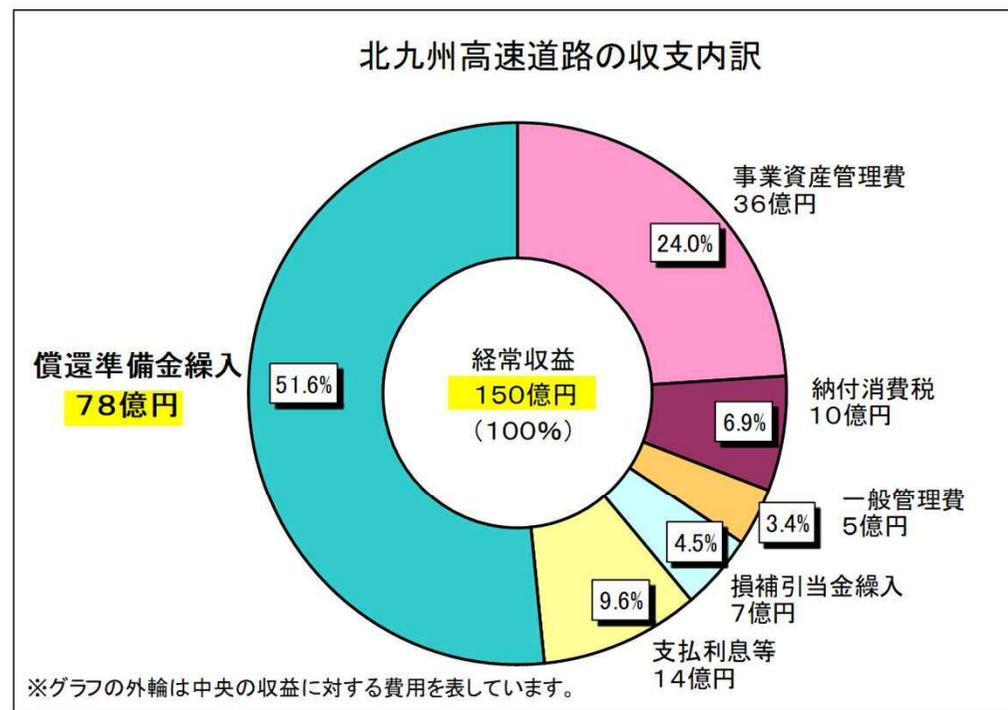
< 福岡高速 >

令和2事業年度の福岡高速道路部門の損益は、
 経常収益 **363億円** に対し、経常費用 **147億円**、
 差引き収支差は **216億円** となり、
 これを償還準備金繰入として計上します。



< 北九州高速 >

令和2事業年度の北九州高速道路部門の損益は、
 経常収益 **150億円** に対し、経常費用 **73億円**、
 差引き収支差は **78億円** となり、
 これを償還準備金繰入として計上します。



※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

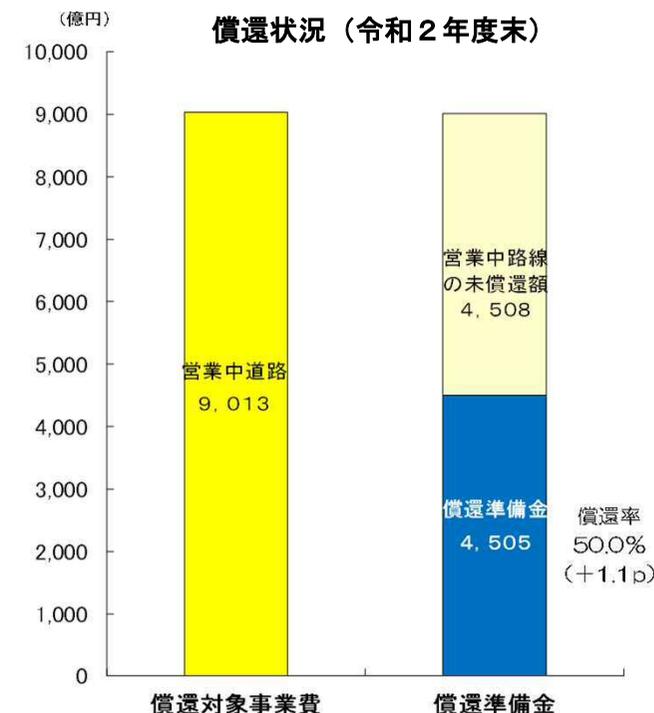
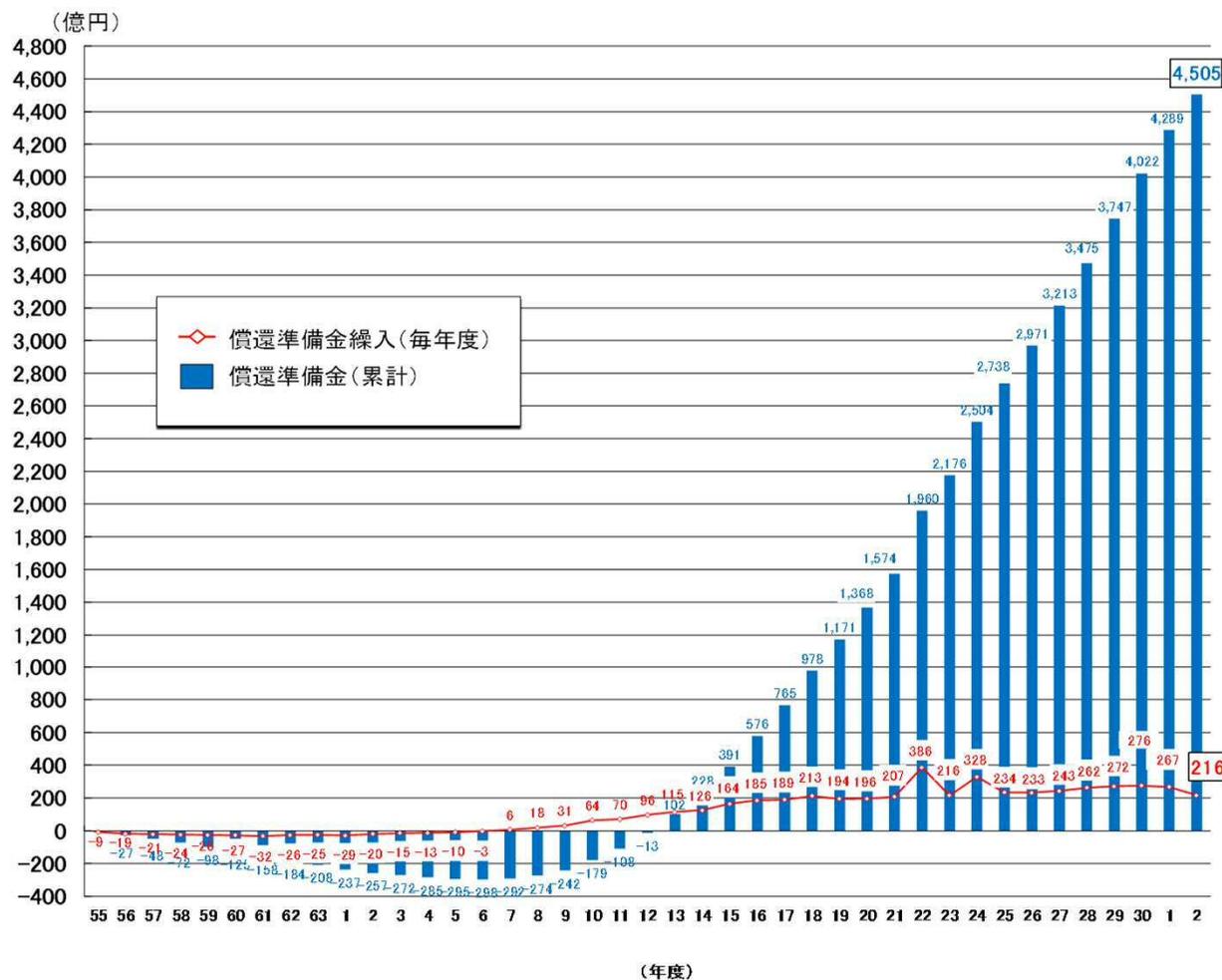
(1) 令和2年度決算

※決算見込

② 償還準備金の推移と償還状況

<福岡高速>

令和2年度の償還準備金繰入は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比19.0%減の216億円で、年度末の償還準備金の累計は4,505億円。償還率は50.0%で前年度比1.1ポイントの増。



(単位: 億円)

営業中道路の資産総額	資産見返交付金	営業中道路 (償還対象額)	償還準備金	未償還残高
A	B	C=(A-B)	D	E=(C-D)
9,036	23	9,013	4,505	4,508

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

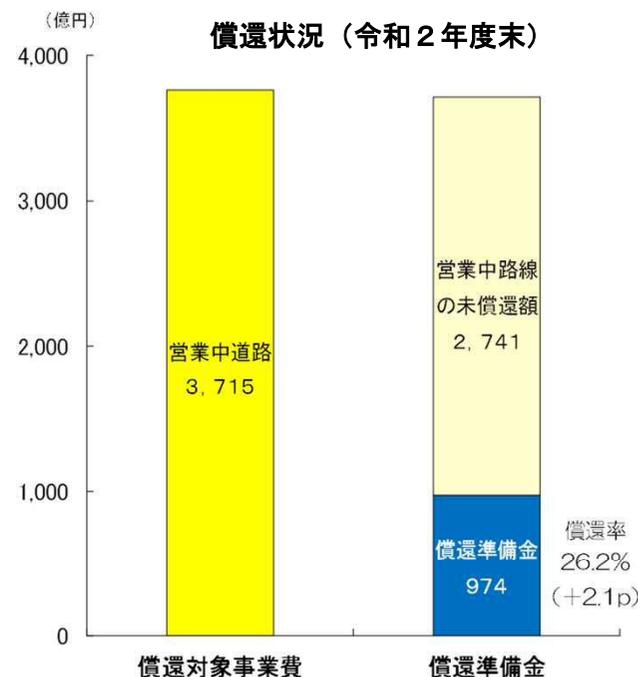
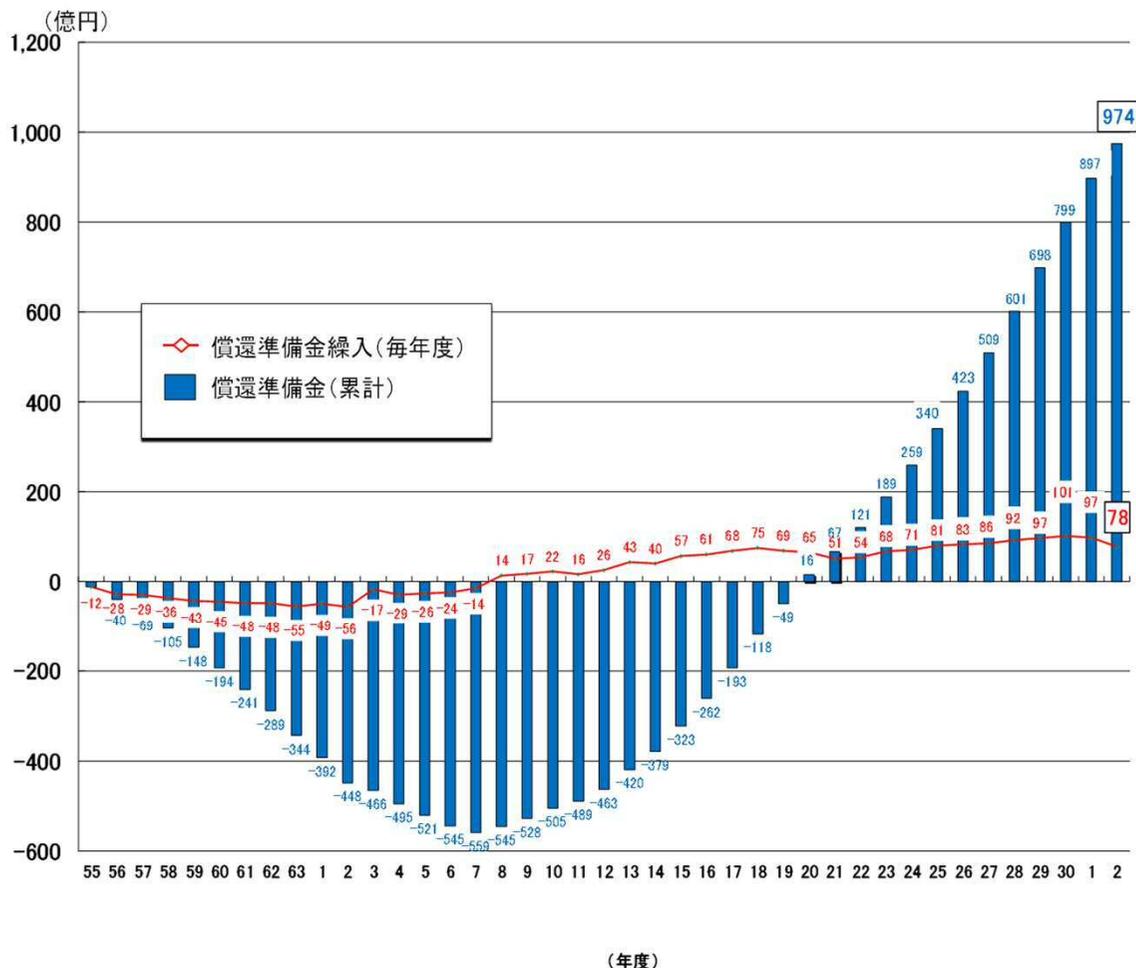
(1) 令和2年度決算

② 償還準備金の推移と償還状況

<北九州高速>

※決算見込

令和2年度の償還準備金繰入は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比20.3%減の78億円で、年度末の償還準備金の累計は974億円。償還率は26.2%で前年度比2.1ポイントの増。



(単位: 億円)

営業中道路の資産総額	資産見返交付金	営業中道路 (償還対象額)	償還準備金	未償還残高
A	B	C=(A-B)	D	E=(C-D)
3,761	46	3,715	974	2,741

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(2) 令和3年度予算

① 事業実施計画

○建設事業

- 福岡市南部地域や太宰府IC方面からの福岡空港国内線旅客ターミナルへのアクセス強化と、国道3号福岡南バイパス空港口交差点の混雑緩和を図るために、福岡高速3号線(空港線)延伸に事業着手します。

○管理事業

- 「安全で快適な都市高速」確保のため、福岡高速における老朽化・予防保全対策など、引き続き、営業中道路(福岡高速59.3km、北九州高速49.5km)の適正な維持管理に努めてまいります。

② 収入支出予算

(単位:億円)

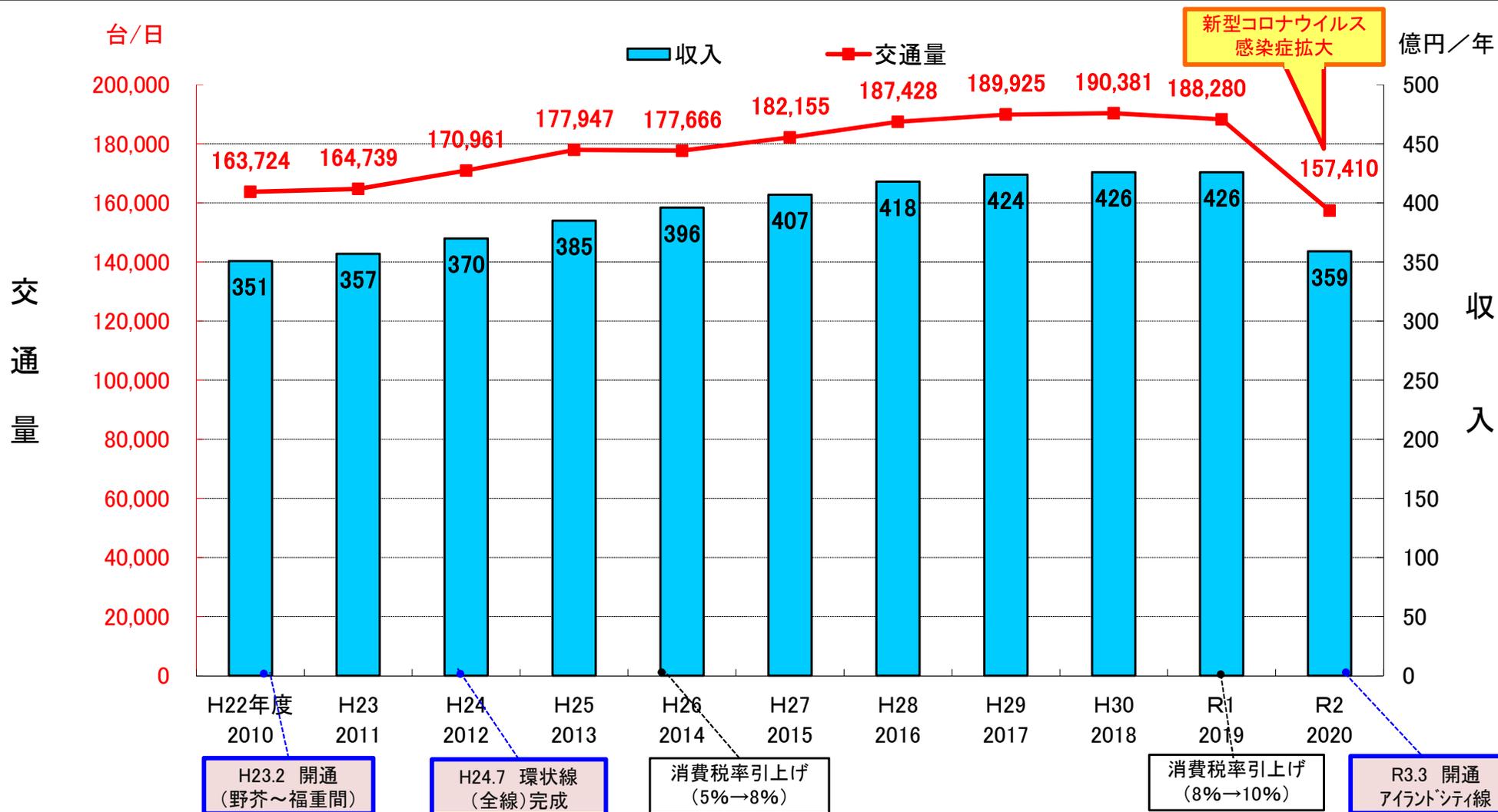
事業区分	収 入				支 出			
	項 目	福岡高速	北九州高速	計	項 目	福岡高速	北九州高速	計
建設事業	設立団体出資金	1	-	1	高速道路建設費	3	-	3
	政府無利子貸付金	2	-	2	一般管理費	4	-	4
	特別転貸債	2	-	2	建設利息	0	-	0
	民間借入金	2	-	2				
	小 計	7	-	7	小 計	7	-	7
管理事業	高速道路料金収入	364	146	510	維持改良費	106	21	126
	駐車場料金収入	1	1	2	業務管理費	64	34	99
	原因者負担金受入	1	1	1	(内 納付消費税)	(29)	(12)	(41)
	民間借入金	129	39	168	原因者負担補修費	1	1	1
	業務外収入	1	1	1	一般管理費	10	6	16
					業務外支出	314	126	440
					(内 元金償還金)	(293)	(113)	(405)
					(内 支払利息等)	(21)	(13)	(35)
小 計	495	187	682	小 計	495	187	682	
その他	受託業務収入等	0	0	1	受託業務費等	0	0	1
合計		502	188	690		502	188	690

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(3) 交通量と収入の推移

① 福岡高速

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、交通量は前年度比16.4%、収入は前年度比15.5%減少しました。

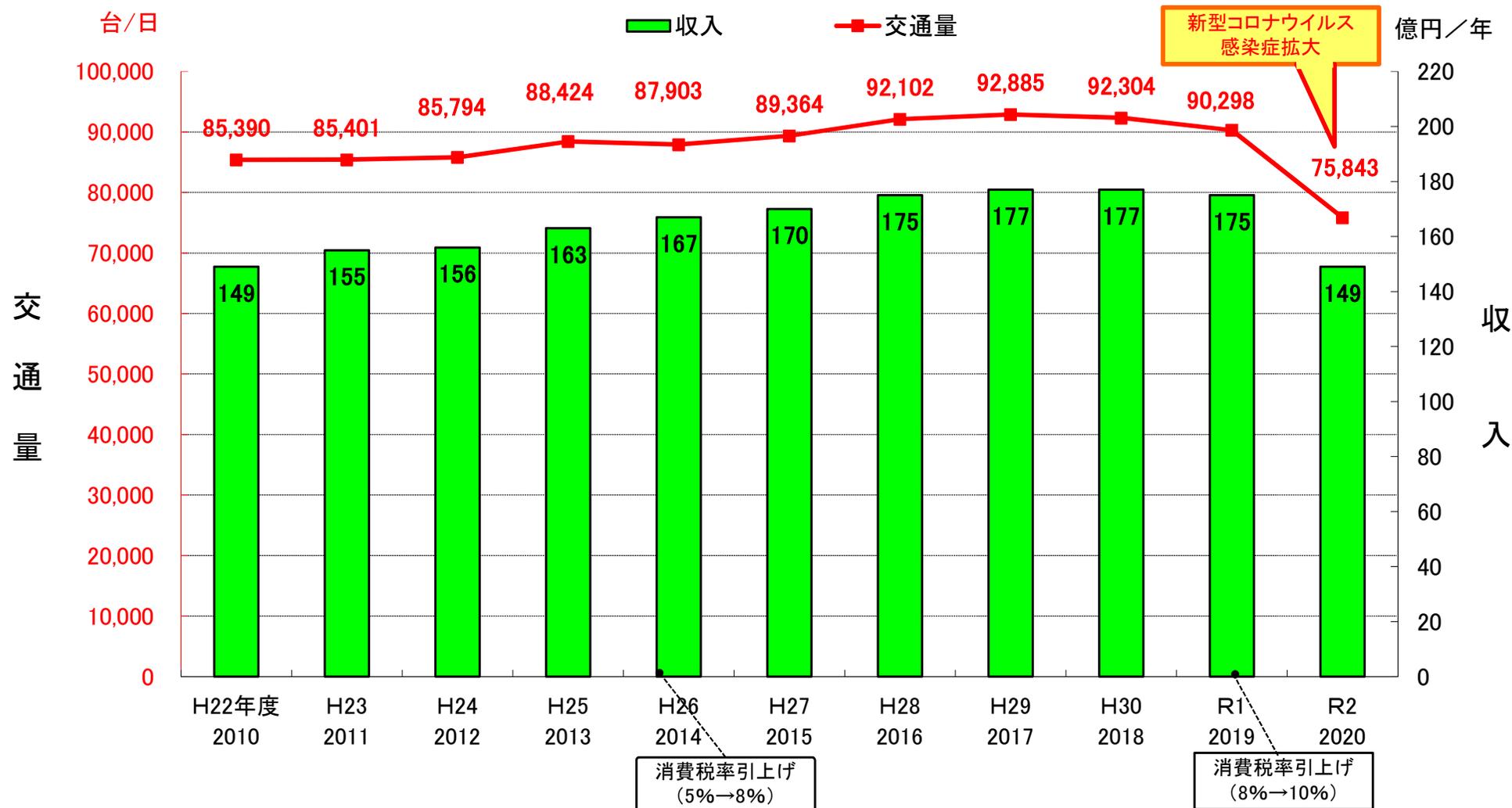


注) 料金収入のみを計上しています(駐車場収入を除く)

(3) 交通量と収入の推移

②北九州高速

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、交通量は前年度比16.0%、収入は前年度比14.6%減少しました。

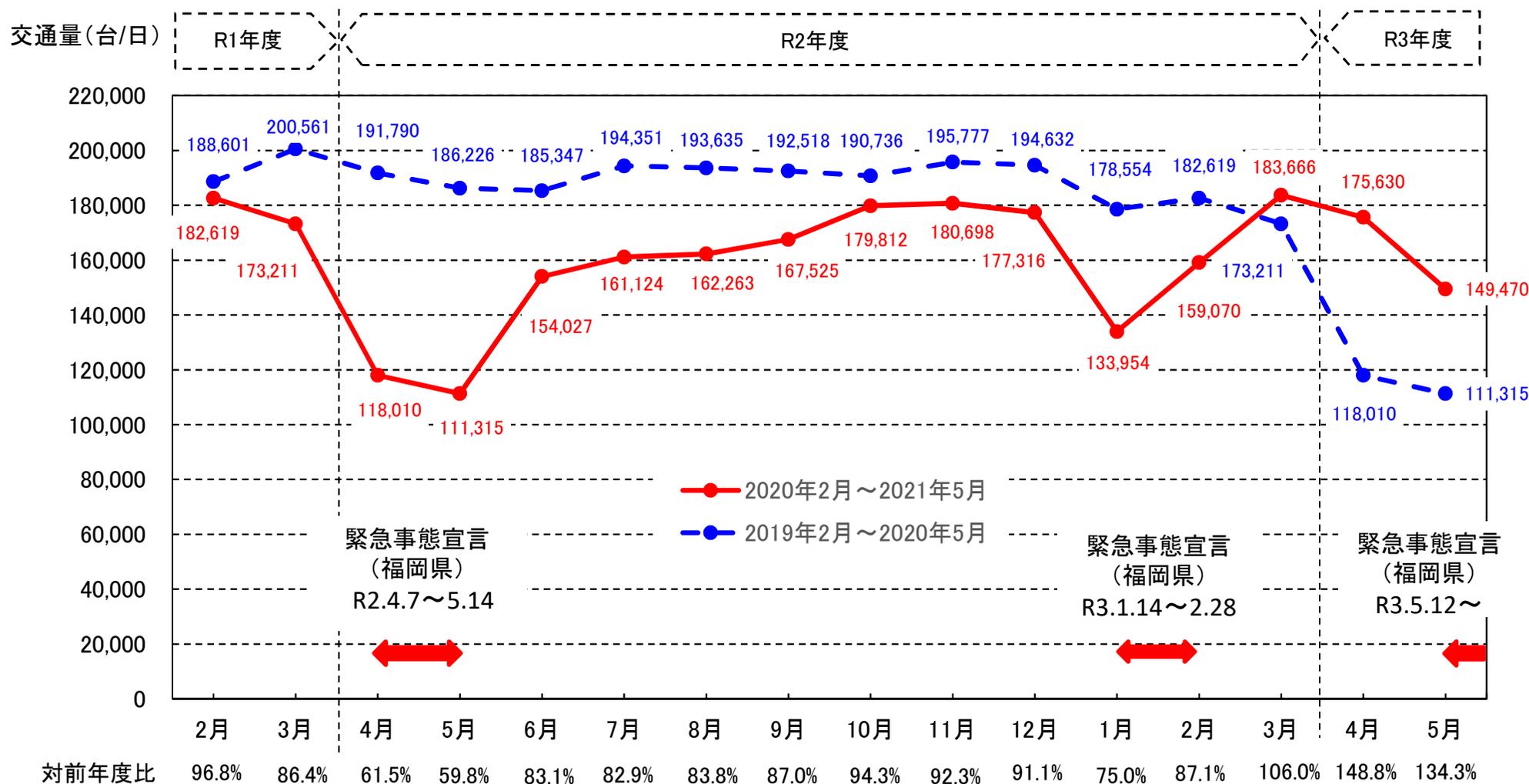


注) 料金収入のみを計上しています(駐車場収入を除く)

(参考)最近の交通量の状況

①福岡高速

令和2年度は緊急事態宣言が発令された令和2年4月、5月及び令和3年1月、2月に大きく減少しています(1月は大雪による通行止めの影響を含む)。

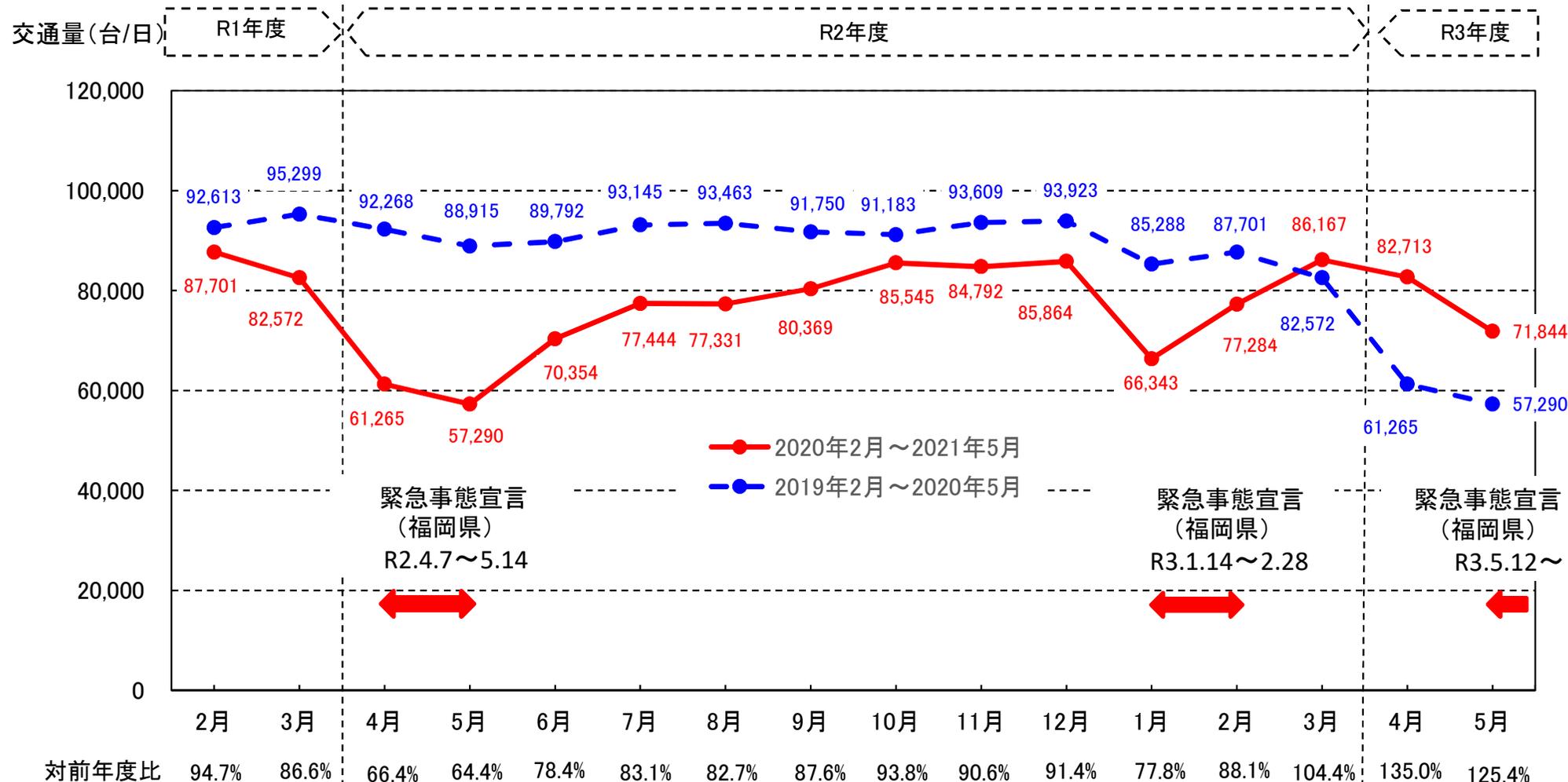


※ 2021年5月は速報値

(参考)最近の交通量の状況

②北九州高速

令和2年度は緊急事態宣言が発令された令和2年4月、5月及び令和3年1月、2月に大きく減少しています(1月は大雪による通行止めの影響を含む)。



※ 2021年5月は速報値

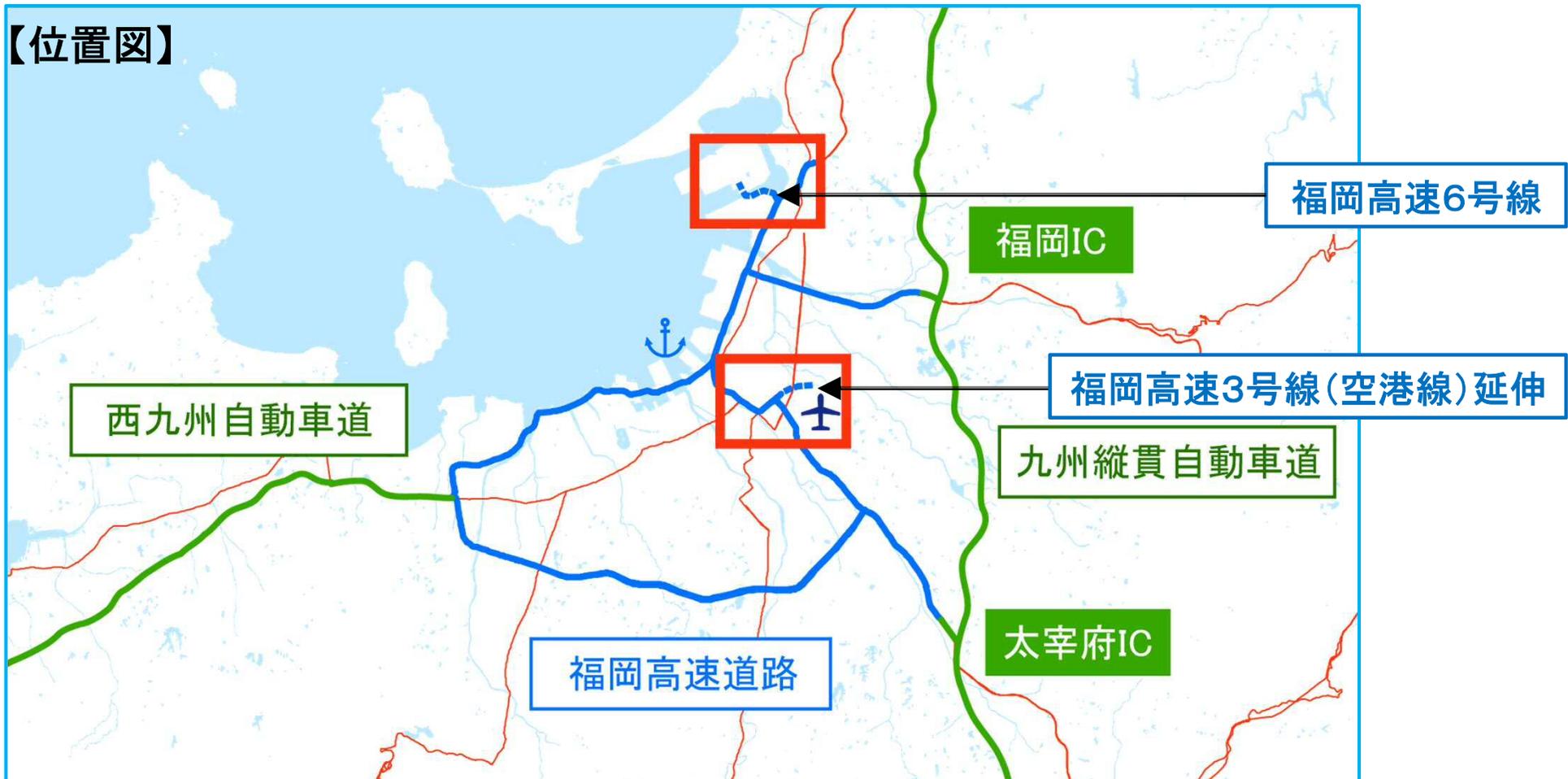
Ⅱ 課題と取組

1 福岡高速道路ネットワークの強化

(1) 三者合意について

平成27年3月17日、福岡県、福岡市及び福岡北九州高速道路公社は、都市計画道路自動車専用道路アイランドシティ線(福岡高速6号線)及び福岡空港関連の自動車専用道路(福岡高速3号線(空港線)延伸)を進めていくことに合意しました。

【位置図】



1 福岡高速道路ネットワークの強化

(2) 福岡高速6号線(アイランドシティ線)

① 概要

福岡市東部地域の交通混雑緩和や、アイランドシティ地区国際海上コンテナターミナル、福岡市立こども病院、青果市場などの広域的な交通需要に対応するため、福岡高速1号線とアイランドシティを結ぶ延長約2.5kmの自動車専用道路を整備し、令和3年3月27日に開通しました。



テープカット・くす玉開披



通り初め

事業概要

延長：約2.5km

幅員：19m

車線数：4車線

事業期間：平成28年度～令和2年度

事業主体：福岡北九州高速道路公社
国土交通省九州地方整備局
福岡市



香椎浜JCT.(写真-1)



アイランドシティ-香椎浜(写真-2)



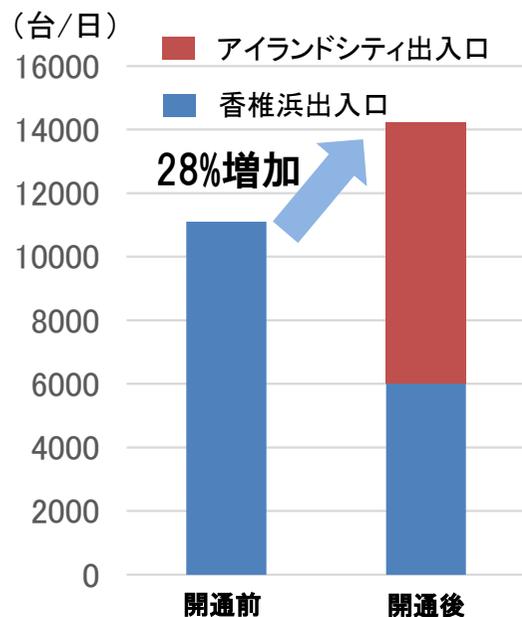
1 福岡高速道路ネットワークの強化

②整備効果(速報)

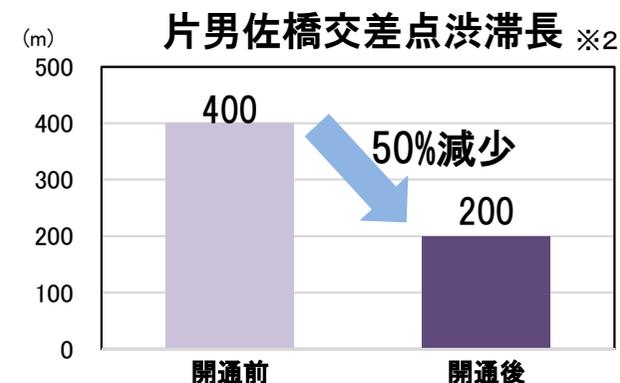
- ・香椎浜出入口の交通がアイランドシティ出入口へ一部転換するとともに、両出入口を合わせた交通量は28%増加しました。
- ・片男佐橋交差点で、渋滞長が400mから200mに50%減少するなど、一般道の渋滞緩和に寄与しています。



アイランドシティ出入口及び香椎浜出入口の交通量 ※1



※1 トラフィックカウンター値、開通前: R3.3月の全日平均 開通後: R3.4月の全日平均



※2 開通前: R3.3.3(水)、開通後: R3.4.27(火) アイランドシティ側から片男佐橋交差点

③利用者の声

青果市場関係者



- アイランドシティ線を利用することで目的地への所要時間が短くなりました。
- 片男佐橋交差点の右折レーンがあまり渋滞しなくなりました。

こども病院関係者



- 遠方からの来客者が、都市高速が延伸して便利になったと言っています。

タクシー運転手



- 一般道の大型車通行が、減ったと感じています。

(3) 福岡高速3号線(空港線)延伸

① 目的

福岡空港の滑走路増設などの機能強化が進められている中、福岡市南部地域や太宰府IC方面からの国内線旅客ターミナルへのアクセス強化と、国道3号福岡南バイパス空港口交差点の混雑緩和を図ります。

② 計画図

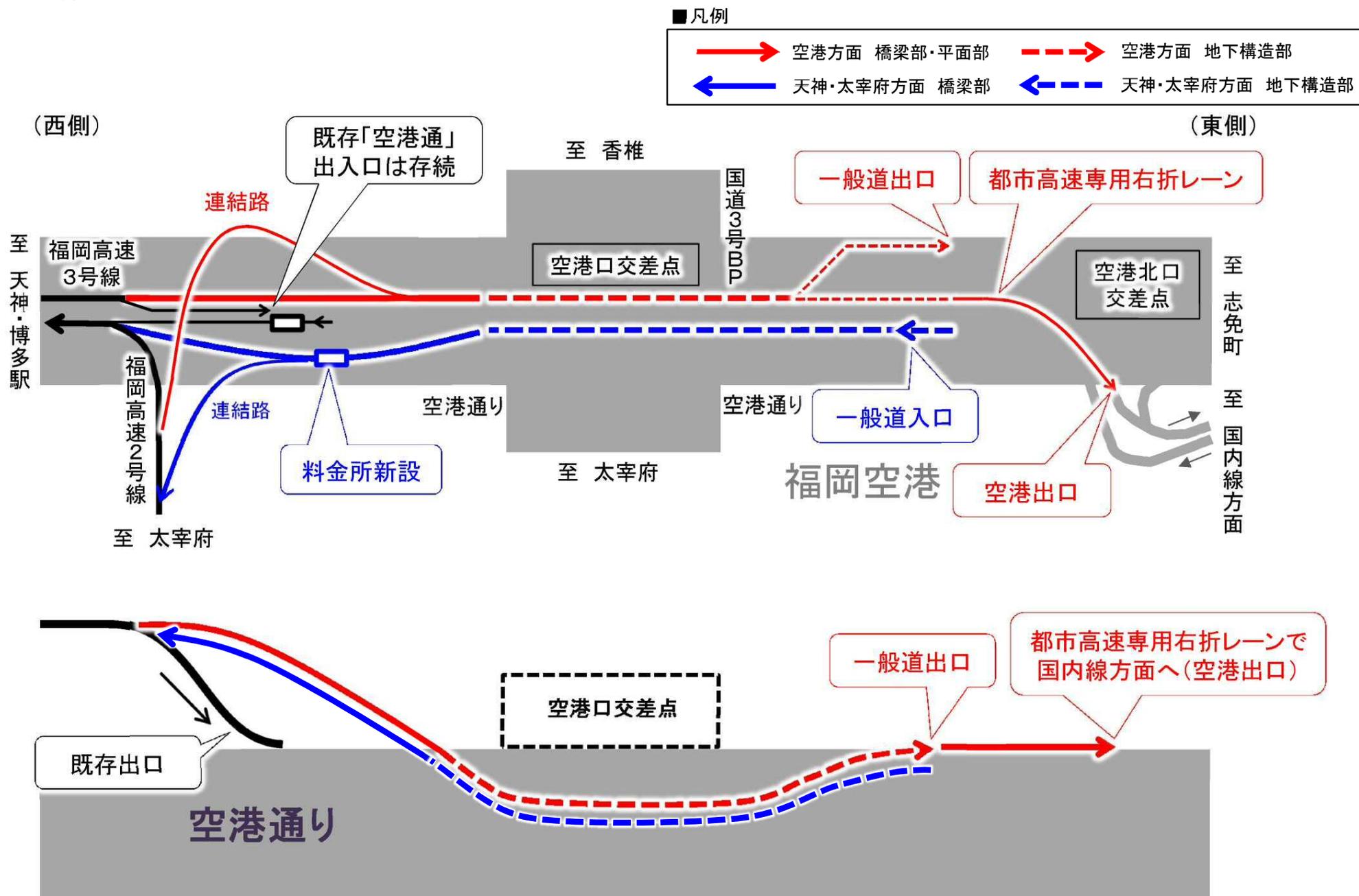


▲位置図



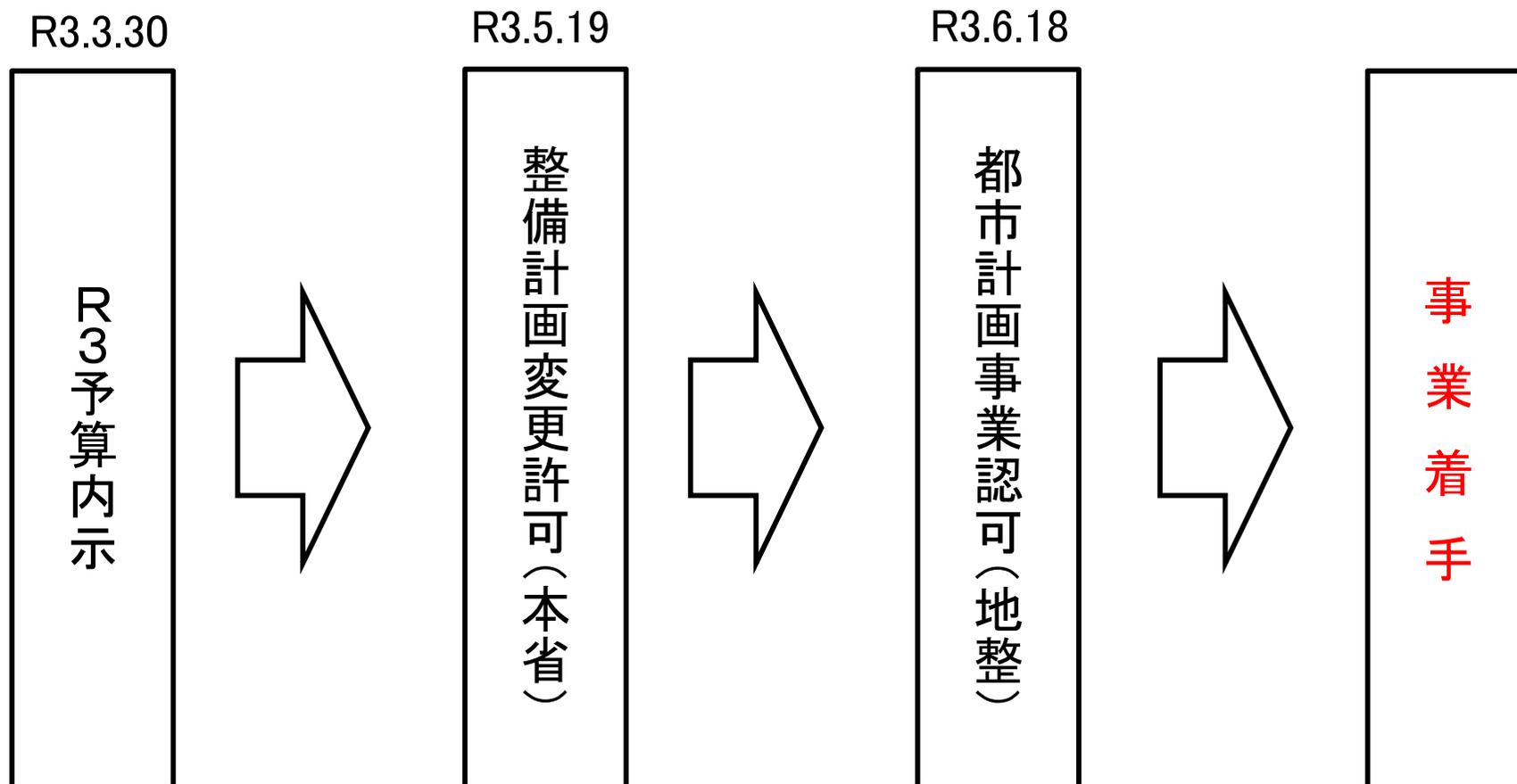
▲計画平面図

③ 整備イメージ図



④ 事業着手までの主な手続きの流れ

今年度の早期事業着手に向けて手続きを進めています。
令和3年度は、地質調査や現地測量、及び設計を実施し、関係機関、関係者と十分に連携及び協議を行い、早期完成を目指していきます。



(1) 維持管理の取組方針

老朽化が進む都市高速道路の機能と健全性を確保するため、メンテナンスサイクルを実施し適切な維持管理に努めるとともに、新技術の積極的な導入・活用により、構造物の耐久性向上や、効率的な維持管理を図っていきます。

① メンテナンスサイクルの実施

5年に1回の頻度にて、
全数近接目視点検の実施



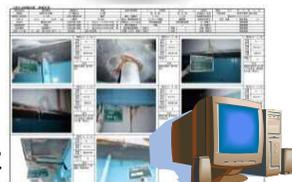
【点検】

【診断】



道路橋定期点検要領(H26国土交通省策定)を基に統一的な尺度にて、健全性の診断を実施

メンテナンスサイクルの取組を
情報基盤データベース等へ記録



【記録】

【措置】



点検・診断結果を基に、計画的な補修の実施

② 新技術の導入・活用



首都高速道路(株)HP引用

点検用恒久足場



IH式舗装撤去工法
(騒音・振動・粉塵の抑制)



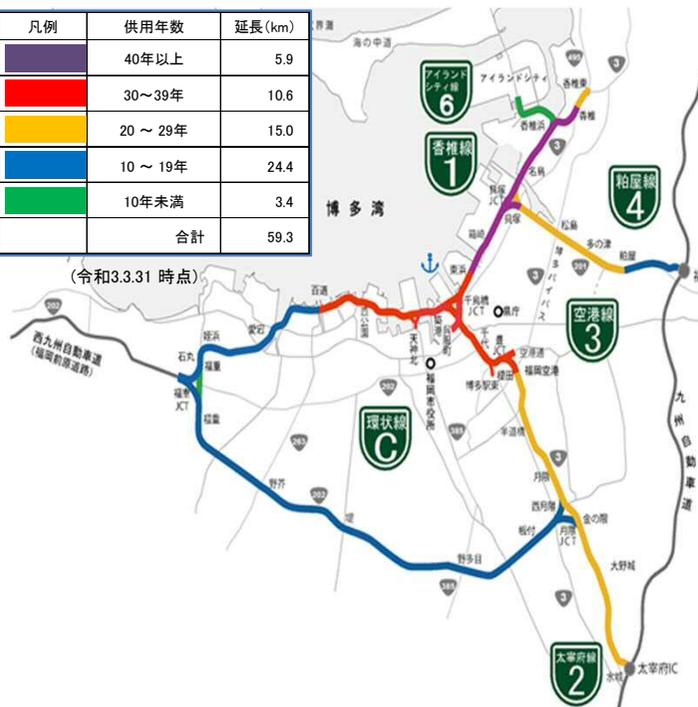
改質グースアスファルト
(防水性・耐久性の向上)

(2) 福岡高速の老朽化対策

路線延長の約3割が供用から30年以上経過したことや、交通量の増加に伴い、橋梁などの老朽化が進んでいます。

このため、平成24年度から老朽化・予防保全事業を実施しています。

凡例	供用年数	延長(km)
	40年以上	5.9
	30～39年	10.6
	20～29年	15.0
	10～19年	24.4
	10年未満	3.4
	合計	59.3



老朽化・予防保全事業

- ・対象路線：福岡高速1～5号線
- ・事業期間：平成24年度～令和13年度の20年間
- ・対策事例：剥離・鉄筋露出部の断面修復、ひび割れの補修、床版防水、炭素繊維シート貼付、鋼桁の塗装塗替等

老朽化の状況写真



(2) 福岡高速の老朽化対策

最初に供用し、老朽化が進んでいる1号線(香椎～東浜)から鋭意工事を進めており、令和2年度から著しい損傷が確認された2号線(榎田～水城)にも着手しています。

福岡高速1号線(香椎～東浜)

(工事状況全景)



[工種] 橋梁補修工事

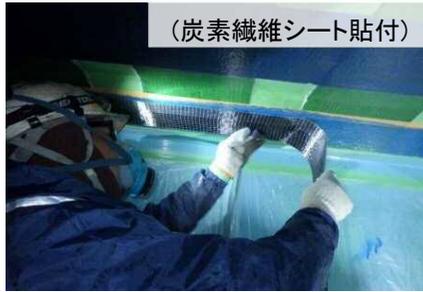
【上部工】[損傷の特徴] 交通荷重による床版の疲労

(損傷一例)



【補修前】

(炭素繊維シート貼付)



【補修中】

(炭素繊維補強)



【補修後】

福岡高速2号線(榎田～水城)

(著しい損傷の事例)



【舗装撤去前】

〈舗装の損傷〉



【舗装撤去後】

〈コンクリート床版の土砂化〉

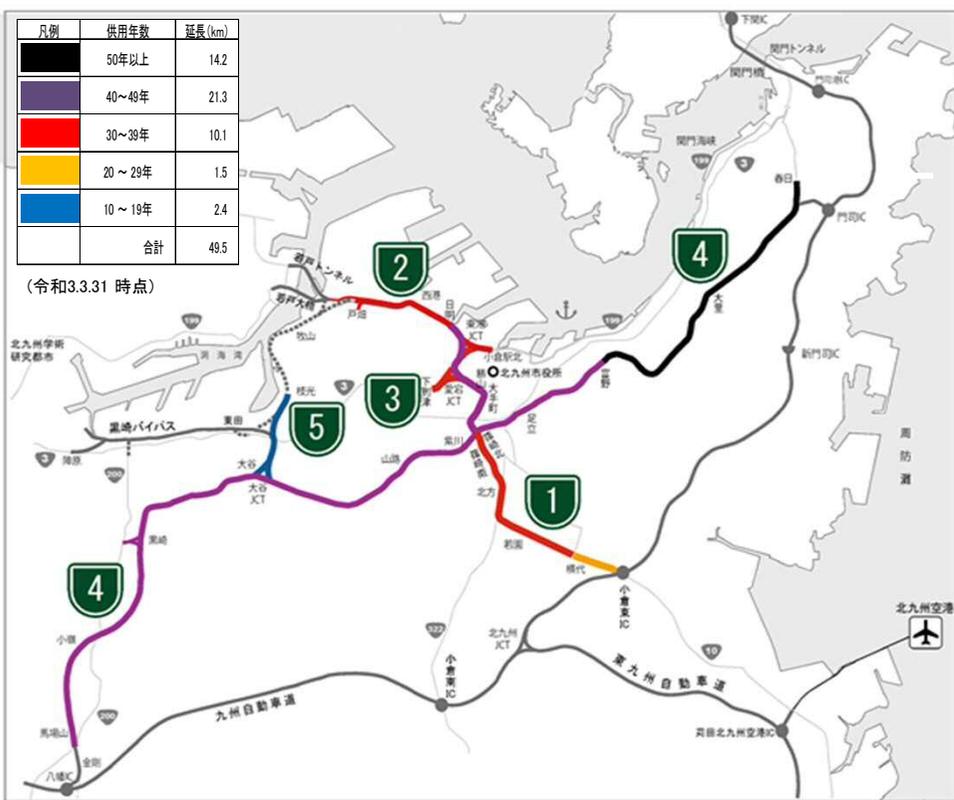
(コンクリート床版下面のひび割れ)



(3) 北九州高速の老朽化対策の必要性

平成15年度～20年度に、当時供用から30～50年以上経過した4号線を対象に大規模修繕事業を実施しました。

しかし、その後10年以上が経過し、路線延長の約9割が供用から30年以上経過するとともに、4号線においても新たな疲労損傷が生じるなど、橋梁等の老朽化が進んでいます。限られた予算の中で優先順位を付けながら、応急的な維持補修を実施しているものの、要補修箇所数が増加の傾向にあります。

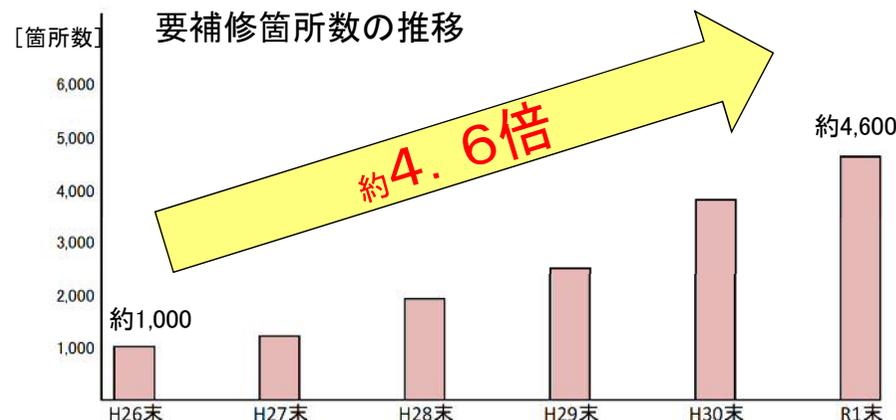


老朽化の状況写真

(4号線下部工の新たな損傷)



(床版の損傷)



(3) 北九州高速の老朽化対策の必要性

平成30年度に「北九州高速道路の大規模修繕等に関する技術検討委員会」より、「橋梁の大規模修繕等の必要性」について提言をいただきました。
この提言や地方道路公社の償還期間の改正等を踏まえ、大規模修繕事業等の早期着手に向け、財源確保等について国や設立団体と協議を進めています。

委員会からの提言(平成31年3月14日)

- ◆ 将来にわたって建造物の耐久性や健全性を確保するためには、大規模修繕事業が必要と判断される
- ◆ 大規模修繕事業の実施にあたっては、路線の特徴や建造物の損傷状況を踏まえ、最適な時期に最適な工法を選択し、維持管理コストの縮減を図ること
- ◆ 大規模修繕事業と併せて耐震補強事業に取り組み、仮設足場の共用等によって効率的で経済的な事業推進を図ること

委員会構成メンバー

委員長	松田 泰治	(九州大学 大学院教授)
副委員長	山口 栄輝	(九州工業大学 大学院教授)
副委員長	添田 政司	(福岡大学 大学院教授)
委員	2名	
オブザーバー	2名	

【参考】地方道路公社の償還期間の上限の延長

国において、道路整備特別措置法等に基づく「有料道路整備資金貸付要領」が改正(令和2年4月1日施行)
償還期間の上限: 40年以内 ⇒ 60年以内

(1) 平成30年7月豪雨 被災の復旧【北九州高速】

豪雨による被災により、北九州高速道路及び九州自動車道が通行止めとなりました。即座に応急復旧に着手し、関係機関等の応援もいただき、被災から5日目に全線開放を行うことで、本州と九州を連絡する交通軸を確保しました。

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成30年7月
豪雨関連

平成30年7月10日
道路局高速道路課

高速道路の通行止め解除について(第4報)

○ 平成30年7月豪雨により被災し、通行止めが続いている北九州高速道路及び九州自動車道のうち、以下の区間について通行止めを解除しますのでお知らせします。

本日17時に解除(予定)

- ・北九州高速道路 4号線(春日～足立、黒崎～金剛)
※春日～富野間は、下り車線を1車線運用(40km/h規制)
黒崎～小倉間は、上り車線を1車線運用(50km/h規制)

これにより **本州と九州を連絡する交通軸を確保**

○ 残る通行止めについては、復旧が完了した車線より、順次、通行を再開する予定です。



本州と九州を連絡する交通軸を確保

国交省記者発表資料 (H30.7.10) より

協定に基づく支援企業からの応援



富野地区



大里地区



3 大規模災害対応

(2) 大規模災害への備え

大規模な災害発生時に、復旧対応を迅速化するため、関係機関と協定を締結しています。平成30年7月豪雨を踏まえて、令和元年度、新たに九地整、及び民間三団体と協定を締結し、災害対応力を強化しました。

災害時に備えた協定

大規模な災害時の相互応援に関する協定（九地整）

目的：資機材及び職員の相互応援 【令和元年7月5日締結】
 ○国土交通省九州地方整備局

震災時等における応急復旧業務の相互協力に関する協定（都市高速5団体）

目的：災害時の人材・資機材の相互協力 【平成24年3月7日締結】
 ○首都高速道路株式会社 ○阪神高速道路株式会社
 ○名古屋高速道路公社 ○広島高速道路公社 ○福岡北九州高速道路公社

災害時における応急対策に関する協定（民間7団体）

目的：災害時の都市高速の復旧に資する協定
 【平成18年3月1日締結】 【令和元年6月19日締結】
 ○日本建設業連合会（土木一般） ○建設コンサルタンツ協会（測量設計）
 ○日本橋梁建設協会（鋼構造物） ○福岡県地質調査業協会（地質調査）
 ○PC建設業協会（PC構造物） ○福岡県建設業協会（土木一般）
 ○日本道路建設業協会（舗装等）



<段差走破訓練状況>

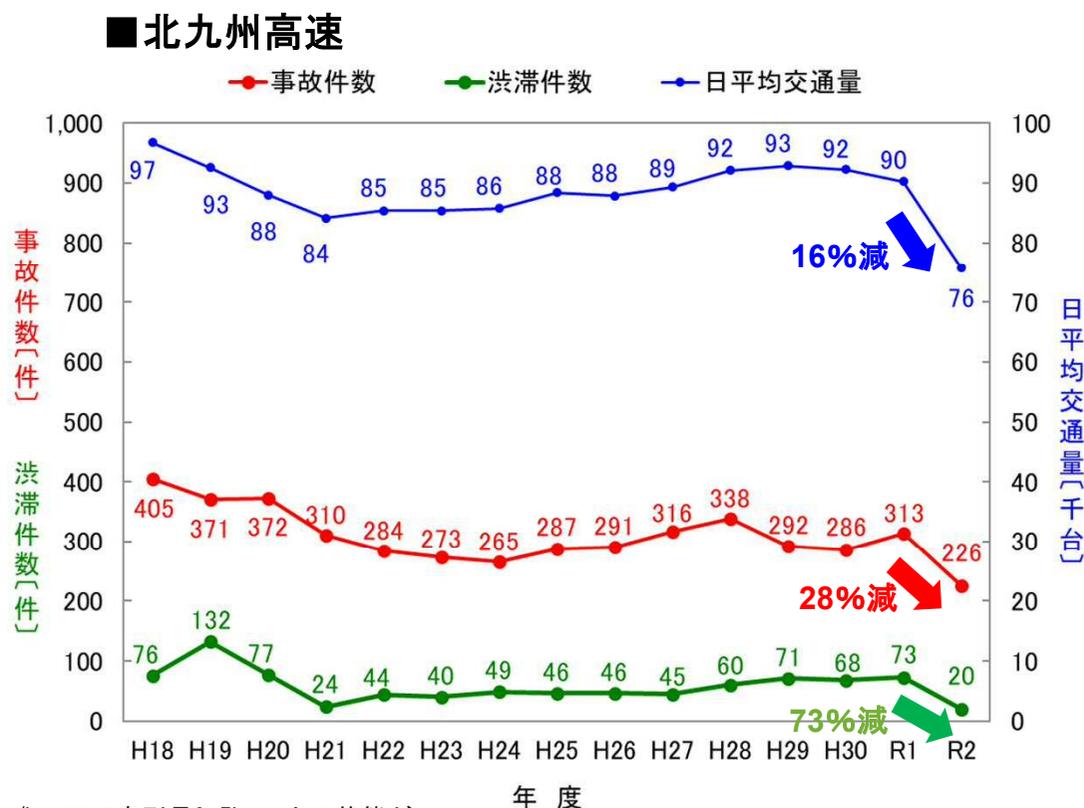
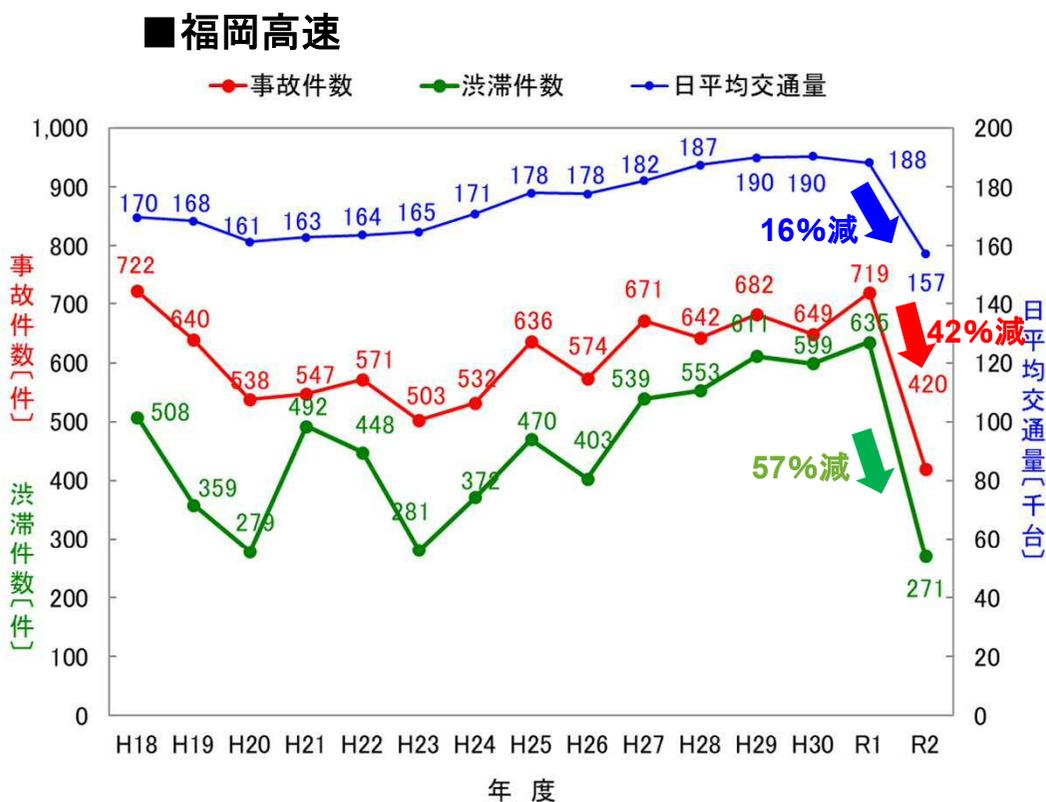
(3) 道路啓開訓練の実施

令和2年度は、更なる早期開放を目的として、緊急車両等が通行可能となる段差解消資機材を用いた道路啓開訓練を公社として初めて実施しました。

(1) 事故と渋滞の推移

令和2年度の事故・渋滞件数は、これまで実施してきた高機能舗装等の対策や、コロナによる交通量減少の影響から、大幅に減少しました。

【事故・渋滞件数】



※1) 渋滞：走行速度20km/h以下で車列長0.5km以上の状態が30分以上継続した場合（事故に伴う渋滞を含む）

(2) 事故・渋滞対策の主な取組

① 事故対策

事故の特徴を踏まえ、高機能舗装等の対策を実施しています。

取組事例 : 福岡高速1号線

令和元年度 下り線(百道→姪浜)

令和2年度 上り線(姪浜→百道)

・カーブ区間で、路面湿潤時に速度超過等による事故が多発



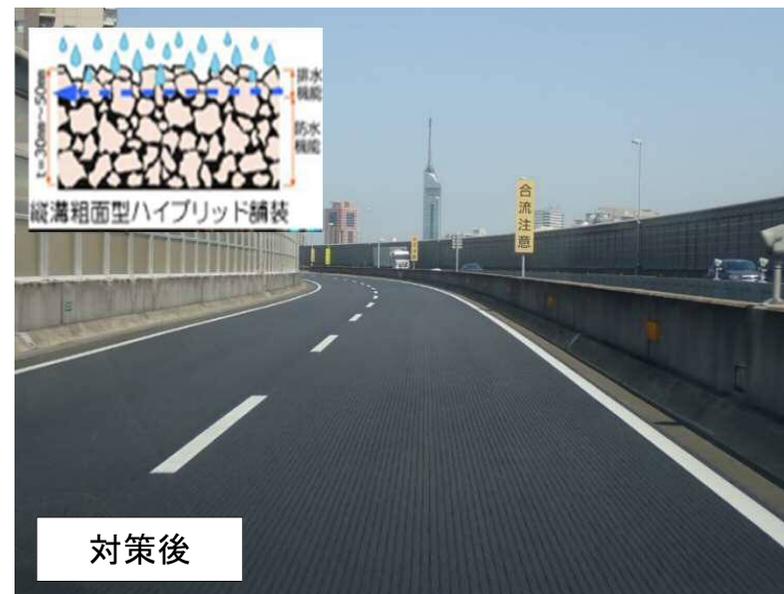
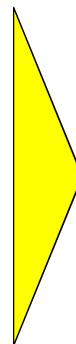
・滑り止め機能の向上を図るためハイブリッド舗装に更新
(令和元年度対策前後 事故 42件/年 → 1件/年)

H31.1~R1.12

R2.1~R2.12



対策前



対策後

(2) 事故・渋滞対策の主な取組

② 逆走対策

これまでも逆走対策に取り組んできたところですが、令和2年3月に北九州高速で発生した逆走による死亡事故を契機に、令和2年度に両高速の全出口（福岡38箇所、北九州35箇所）で逆走対策を完了しました。

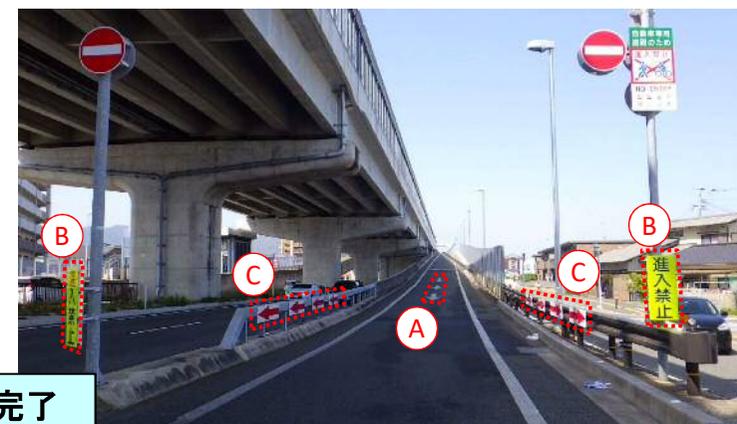
今後は両高速の合流部、JCT部において逆走対策を進めます。

対策前

対策後

福岡高速

野芥西出口

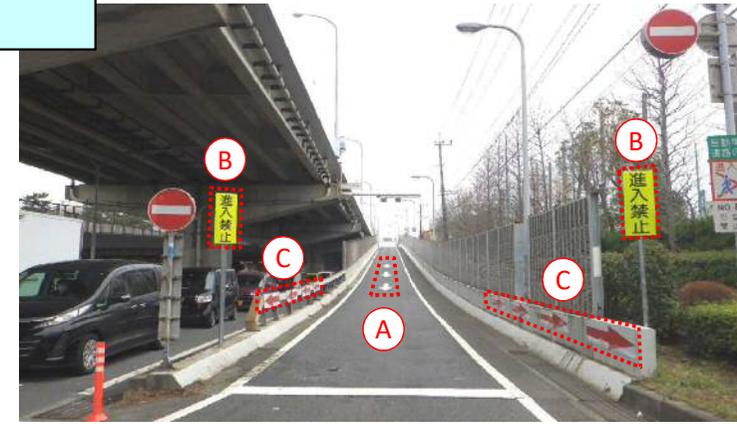


両高速全出口で逆走対策を完了

- ① 大型矢印路面標示の設置
- ② 進入禁止看板の設置
- ③ 壁高欄に矢印板の設置

北九州高速

若園出口



お客様に都市高速をより便利にご利用いただくため、ホームページによる案内のほか、リアルタイムの道路状況の情報提供や道路案内等、利便性を高める取り組みを行っています。

(1) ハイウェイテレホン

- **通行止**や**渋滞**、**平均所要時間**などの道路状況を音声及び文字にてご案内いたします。
- 道路情報は**約5分ごと**に更新されます。

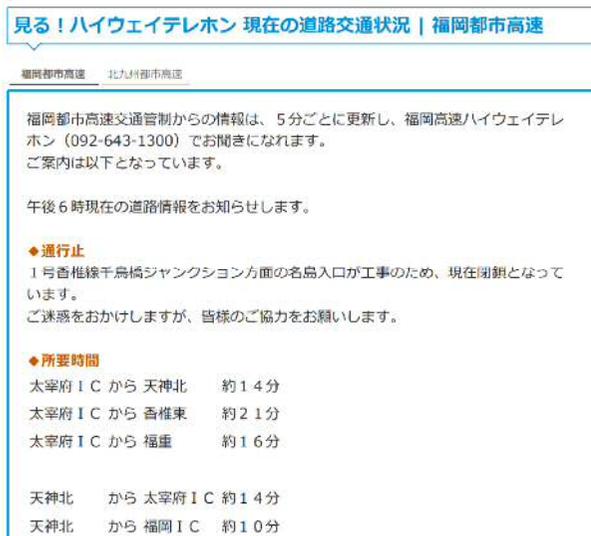
聞く！ 音声にてご案内しています。

福岡高速ハイウェイテレホン(自動音声) ☎ 092-643-1300
北九州高速ハイウェイテレホン(自動音声) ☎ 093-931-1400

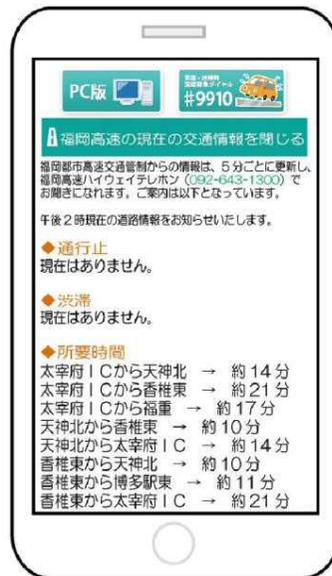
見る！ 文字にてご案内しています。

パソコンやスマートフォンからアクセスできます。

ホームページサイトイメージ



スマートフォンサイトイメージ



(2) イラスト地図「スイスイマップ」

都市高速における乗り降りの間違い、またジャンクション部の方向間違いなどを減らし、より便利で身近な道路として活用していただくため、イラスト地図「スイスイマップ」を作成し、都市高速の関係施設の他、集客施設等に常設しています。



【主な設置箇所】

- ・都市高速の全ての料金所
- ・都市高速周辺の大規模商業施設
- ・レンタカー会社
- ・NEXCOのサービスエリア及びパーキングエリア
- ・主要観光施設及び観光案内所
- ・関係庁舎
- ・自動車学校
- ・道の駅 など

(3) LINE

工事による規制やイベント情報など、都市高速ご利用のお客様に役立つ情報を提供しています。

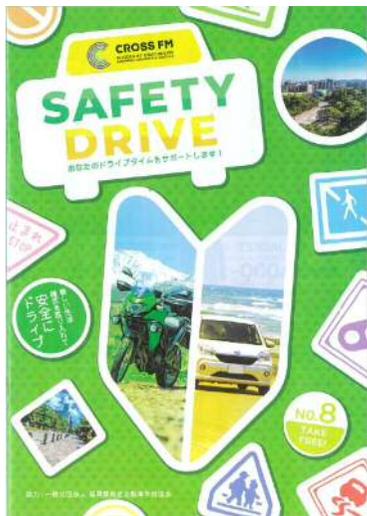


(4) ラジオCM

工事による規制や通行時の注意点など、都市高速の通行に必要な情報をラジオCMにより提供しています。

(5) 情報誌「SAFETY DRIVE」

新たな免許取得者向けにクロスFMが発行する冊子「SAFETY DRIVE」に、**都市高速を利用する際の注意点**や**都市高速の出入口の紹介**を行っています。



都市高速を利用する際の注意点

都市高速出入口の紹介

都市高速を安全運転で！
都市高速の基本と安全運転5カ条
これであなたも都市高速マスター！

- スムーズな交通のため、速度は一定に！
都市高速の制限速度は90km/hです。区間によって制限速度が異なりますので、標識に従って安全運転をお願いします。
時速60km/h
- 急ブレーキに備え、車間距離をとろう！
安全運転に必要な車間距離は、走行速度、気象、路面状況及び車種状況により変わりますので、十分な車間距離をとり安全に運転してください。
車間距離 60m以上 (100km/h時車間距離以上)
- ゆとりある運転のため、早めの合図！
ウィンカーは運転に車の動きを知らせる大切なものです。車線変更の意思表示をお早めに。
3秒前合図
- ETCレーンの通過速度を守ろう！
通信機器等のトラブルにより、バーが読めない場合があります。速度を守ってETCレーンを通りましょう。
時速 20km/h以下
- みんなの都市高速！思いやり運転をしよう！
期間と心に守りを持って思いやり、思いやりのある運転をお願いします。
思いやり度 100%

事故を防ぐためのポイント

- リターンやバック走行は絶対禁止
都市高速は一方通行です。本線上でリターンやバックをして、入口から出る行為は禁止されています。
- 駐停車禁止
乗客乗員からの視界の妨げがあるため、都市高速では緊急時以外の駐停車は禁止です。
- スマホや携帯電話の使用は事故のもと
スマホや携帯電話を使用しながらの運転は、大変危険な行為です。都市高速の安全運転のために、都市高速の安全運転をお願いします。

もしものときは… 緊急時の対応が大変なこと

- まずは安全確保！
自由が丘交差点は非常事態発生へ移動させましょう。移動できない場合はパーキングで待機車を知らせ、後続車間に十分注意し、停止表示板や携帯電話を起動します。
- 事故の場合は110番通報！
方が一事故にあってしまったら、たまたま110番に通報してください。
- 故障やガス欠、落下物などのトラブル時は！
トラブルの際は都市高速道路警察へ連絡ください。【携帯電話が故障し（110番通報できない）場合】
1を押し、通報してください。【非常電話】都市高速 上にある非常電話は受信機をあげたら都市高速警察署に繋がります。

必ず事前にルートを確認しよう！
都市高速に乗る前に、目的地までのルートや出入口、ジャンクション部での進行方向をホームページやスイスイマップでチェックしておくこと、乗らずに済ませ！
6号線開通！
飲食はそのままのアイランドシティ方面のアクセスが便利！

福岡 都市高速
北九州 都市高速

あなたと街に生まれ、あなたと街を繋いでいく～会社設立50周年～

ハイウェイテレホン 092-643-1300 093-931-1400
都市高速ホームページ https://www.fk-tosikou.or.jp

【配布場所】 福岡県内の指定自動車学校 (全38校)

【配布対象者】 新規免許取得者

【配布期間】 令和3年3月～令和4年2月(1年間)

「都市高速を利用する際の注意点」、「交通事故・緊急時の対応」等の運転者に必要な知識のほか、「都市高速の出入り口」や「ハイウェイテレホン・スイスイマップ」の紹介等を掲載

事故防止のポイント・事故の時の対処法

ハイウェイテレホン・スイスイマップの紹介

(6) 公社設立50周年

令和3年11月1日に設立50周年を迎える節目の年に広報を行い、都市高速をご利用いただいた皆様や関係機関の方々に感謝の意を表すとともに、都市高速の役割や安全・安心・快適な質の高いサービスの提供を実現するための取り組みを紹介します。

～キャッチコピー～ 「あなたと街に生まれ、あなたと街を繋いでいく。」

公社では、都市高速が担う物流、緊急輸送ルート等の機能を確保しつつ、お客様、関係先の皆様及び公社職員の感染リスクの軽減を図るため、様々な対策を実施しています。

お客様への呼びかけ

- 入口や本線の道路情報板での注意喚起文の掲示
- 北九州高速パーキングエリアでのポスター掲示
- 公社ホームページでの福岡県等からの注意喚起文の掲載



料金收受業務

- マスク着用、トレーによる料金收受
- 精算機器類、手指の定期的な消毒
- 收受班における小グループ化

朝礼、アルコール検査、移動、精算作業等を小グループに分けて実施。

万が一感染者が発生した場合でも、接触者の最小化を図ることで、收受業務への影響を回避しています。



交通管制業務

- 巡回班における小グループ化
- 管制室での隊員同士の距離の確保
- 巡回車、管制機器類等の定期的な消毒



維持補修工事・業務

- 始業前の検温等の体調管理
- 朝礼時の距離確保、作業時のマスク着用
- 作業車両、使用器具等の定期的な消毒



建設・保全工事

- 現場での「三密の回避」の徹底
- 送風機での現場の換気
- 「工事現場の遠隔臨場」の制度試行導入



公社職員

- テレワークPCによる在宅勤務、時差出勤
- WEB会議システムの活用
- 会議室、受付等での飛沫防止パネル設置

